船舶事故等調査報告書

平成２３年１月２７日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	２０１０神第２２８号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成２２年６月８日　１７時０５分ごろ	
発生場所	徳島県阿南市橘浦のノベリバエ 　刈又埼灯台から真方位３５４°　１．９海里付近 　（概位　北緯３３°　５２．６′　東経１３４°　４３．０′）	
事故等調査の経過	平成２２年１０月２１日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 　原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 　船種船名、総トン数 　船舶番号、船舶所有者等	 貨物船　第五永昇（えいしょう）丸、４９９トン 　１２９５８６、有限会社小川海運	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船底部に凹損	
事故等の経過	本船は、船長ほか４人が乗り組み、石炭灰約１，５５０ｔ を積載し、船首約３．６ｍ、船尾約４．８ｍの喫水で、橘浦を手動操舵で東進中、平成２２年６月８日１７時０５分ごろ、橘浦のノベリバエに乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気　晴れ、風向　北東、風力　３、視界　良好 海象：潮汐　下げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 　本船は、橘浦を東進中、蒲生田岬と伊島の間への変針時期が早かったことから、橘浦のノベリバエに乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、橘浦を東進中、蒲生田岬と伊島の間への変針時期が早かったため、橘浦のノベリバエに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	